お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内

消耗品・部品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-fresco.com/

お客様ご相談センター

0570-011874
ナビダイヤル　市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00
月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）
●携帯電話・PHSでのお問い合わせ　Tel (06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ　Fax (06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

保証書

ハイブリッド式加湿器保証書　　持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型名	EV-CC50	修理メモ
●お客様　お名前	☎	
ご住所　〒		
●お買い上げ日　年　月　日	●販売店名・住所	
保証期間　お買い上げ日より　本体1年	☎	

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   (ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   (ニ)一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ)本書のご提示がない場合。
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト)消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検　**長年ご使用のハイブリッド式加湿器の点検を！**

こんな症状はありませんか
●水もれする
●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●焦げくさいにおいがする
●その他の異常や故障がある

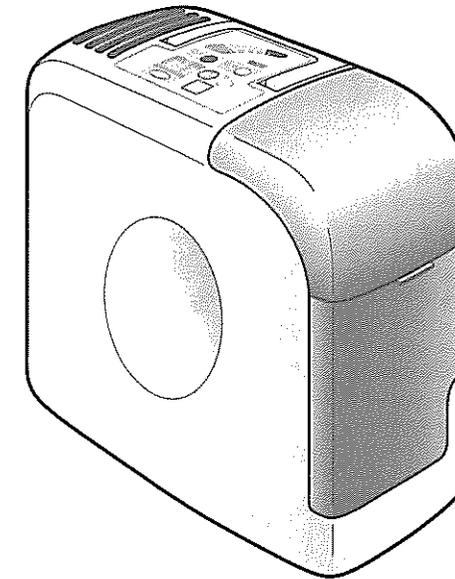
ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

EV-CC 型 ©Ⓑ Ⓐ

家庭用

ハイブリッド式加湿器

型名 EV-CC50 型

取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ

お使いになるまえに
安全上のご注意・・・・・・・・・・2
設置場所について・・・・・・・・・3
各部のなまえ・・・・・・・・・・・4
使い方
準備・・・・・・・・・・・・・・・・6
運転・・・・・・・・・・・・・・・・7
おやすみ/おはようタイマーの使い方・・・8
チャイルドロックの使い方・・・・8
光センサーについて・・・・・・・・9
給水表示について・・・・・・・・・9
使用後・・・・・・・・・・・・・・10
お手入れ
各部のはずし方・つけ方・・・・・11
お手入れ・・・・・・・・・・・・・12
困ったときに
交換部品・別売品・・・・・・・・13
故障かなと思ったとき・・・・・14
仕様・・・・・・・・・・・・・・・15
アフターサービス・・・・・・・・15
お客様ご相談窓口・・・・・裏表紙
保証書・・・・・・・・・・・・裏表紙

安全上のご注意　必ずお守りください

● ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
● いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷[*1]を負うことが想定される内容を表します。

取り扱いを誤った場合、傷害[*2]または物的損害[*3]の発生が想定される内容を表します。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがや、やけど、感電などをさします。

注意
△ 記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

禁止
⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指示
● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

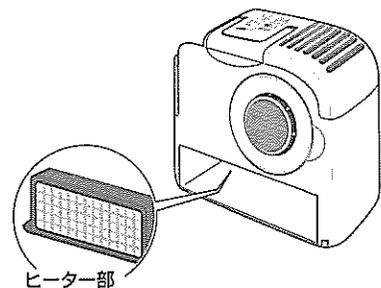
※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠ 警告

分解禁止
改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

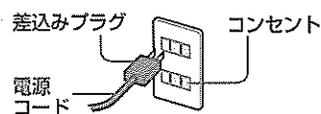
水ぬれ禁止
水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の恐れがあります。

禁止
部品を乳幼児などが誤って飲み込まないようにする
けがの原因になります。

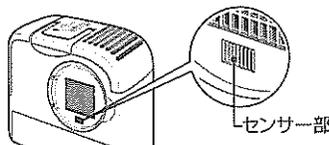
禁止
運転停止直後はヒーター周辺に手を触れない
やけどやけがの原因になります。

禁止
使用中や使用直後は持ち運ばない
やけどの原因になります。

禁止
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

禁止
幼児の手の届くところで使わない
やけどやけがの原因になります。

禁止
電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
お手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使わない
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。

禁止
電源コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止
センサー部のすき間にピンや針金など、異物を入れない
感電や異常動作してけがをすることがあります。

プラグを抜く
お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

必ず実施
定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠ 注意

火気禁止
可燃性のものや火のついたタバコ・線香などは吸わせない
発火することがあります。

禁止
使用中や使用直後は、お手入れをしない
高温部に触れ、やけどの原因になります。

禁止
ベンジン・シンナーでふいたり殺虫剤をかけない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

プラグを抜く
使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

必ず実施
トレーの水をすてるときは必ず本体からトレーをはずす
故障の原因になります。

必ず実施
差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

必ず実施
タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康に良くないことがあります。

必ず実施
吸気フィルターを取りつけて運転する。また、定期的にお手入れする
けがや故障の原因になります。

お願い

■**製品を引きずって移動させない**
机などに傷がつく恐れがあります。

■**製品を落下させない**
故障・変形の原因になります。

■**持ち運ぶときは必ずタンクをはずしてハンドルを持ち、傾けないようにしてゆっくり運ぶ**
水がこぼれて床をぬらす原因になります。

■**吹出口や吸込口をふさいだり、ふきんをかけない**
やけどの恐れや故障・変形の原因になります。

■**吹出口や吸込口に指や、ピン、針金などの異物を入れない**
けがや感電・故障・変形の原因になります。

■**吹出口・操作部・センサー部は、水にぬらさない**
故障・変形の原因になります。

■**製品を傾けない**
水が流れ出て、床をぬらしたり、故障の原因になります。

■**お手入れの際、トレーについている部品（フロート）をはずしたり、上に持ち上げたままの状態にしない**
正しい位置にないと運転しません。（給水表示になります）

■**凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ずタンクおよびトレー内の水を完全にすてる**
凍結による故障の原因になります。

■**他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない**
蒸気により、電気機器の火災、故障、変色、変形の原因になります。

設置場所について

■空気の循環が良く上部に障害物がない場所、風や熱の影響を受けにくい場所に設置してください。

■次のような場所では使用しないでください。

●壁・天井・家具・電気器具の近く
蒸気により故障や、壁などを傷める原因になります。壁や家具に蒸気がつくと結露してカビが発生する原因になります。

●テーブルクロスなど熱に弱いものの上
テーブルクロスなどを傷める原因になります。

●直射日光の当たる場所や、温度の高い場所
故障・変形の原因になります。

●テレビなどの電気製品や暖房器具の上
火災・感電の原因になります。

●高いところ（ピアノの上など）
落下すると故障・変形の原因になります。

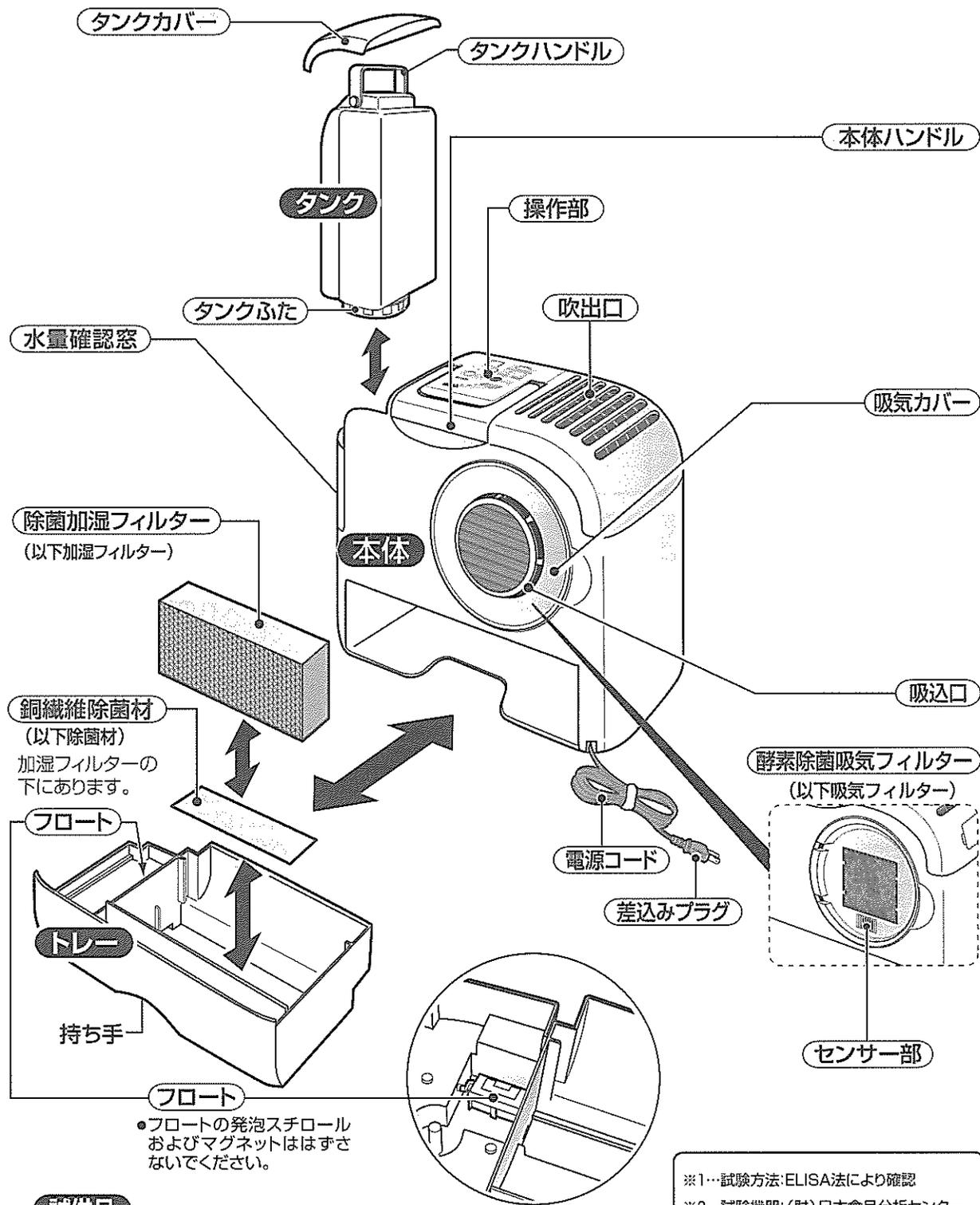
●ストーブなどの熱源の近く
火災・故障の原因になります。

●不安定な場所
設置面が水平でないと若干製品が振動し、水がこぼれる場合があります。水平で安定した場所に設置してください。

●湿度の高い場所（80%以上）
加湿のしすぎは、室内の結露やカビが発生する原因になります。

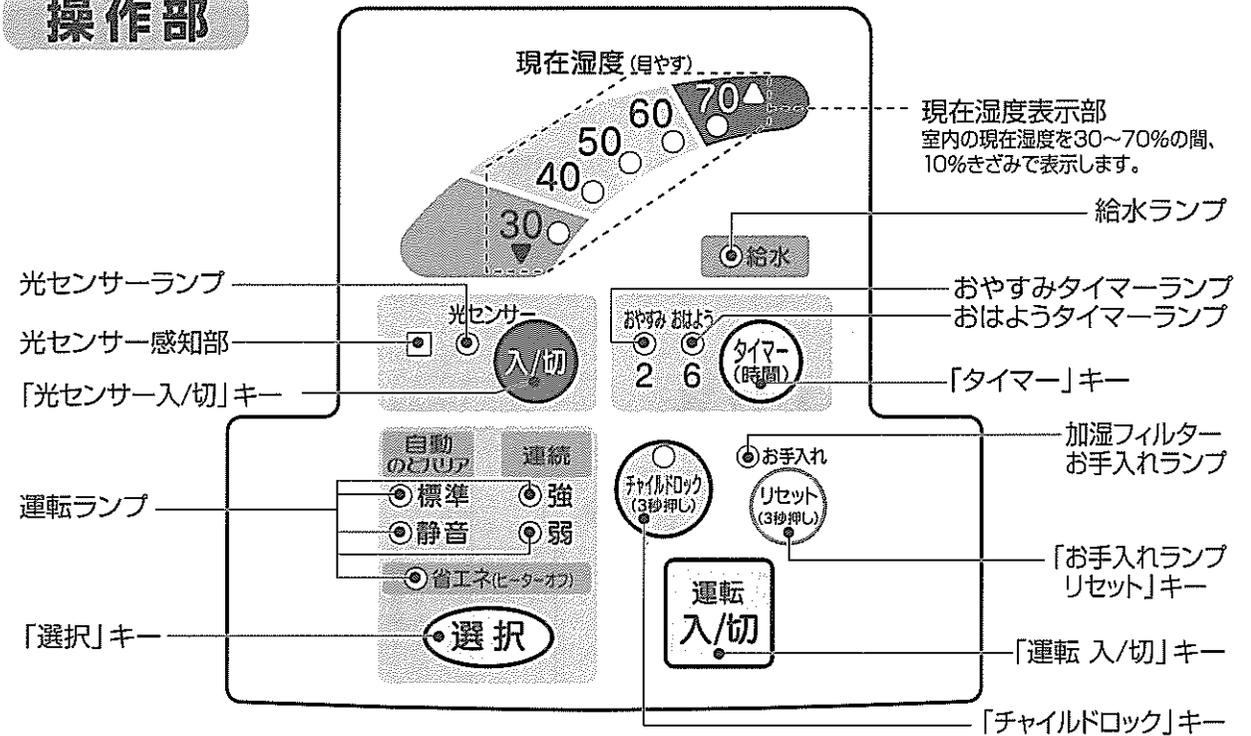
各部のなまえ

●各部のはずし方・つけ方→P.11
●お手入れ→P.12

タンクカバー
タンクハンドル
本体ハンドル
タンク
操作部
タンクふた
吹出口
水量確認窓
吸気カバー
除菌加湿フィルター
（以下加湿フィルター）
本体
銅繊維除菌材
（以下除菌材）
加湿フィルターの下にあります。
吸込口
酵素除菌吸気フィルター
（以下吸気フィルター）
フロート
トレー
電源コード
差込みプラグ
持ち手
センサー部
フロート
●フロートの発泡スチロールおよびマグネットははずさないでください。

試供品

洗浄用クエン酸（1包）
●P.13をご覧ください。

※1…試験方法:ELISA法により確認
※2…試験機関:（財）日本食品分析センター
試験方法:JIS L 1902 に基づく
※3…試験機関:（財）日本食品分析センター
試験方法:SCDLP寒天平板培養法に基づく

操作部

吸気フィルター

キャッチしたダニの死がい、花粉の作用を99%[※1]以上抑制します。また、同時にキャッチした浮遊菌も除菌します。

加湿フィルター

付着した浮遊菌を除菌し、繁殖を抑えます。[※2]

除菌材

除菌効果[※3]のある銅イオンにより、トレー内の水を清潔に保ちます。

のどバリア機能について

人間が感じる湿度（体感湿度）を室内の温度と湿度の値からマイコンで求め、その湿度でコントロールすることにより、のど粘膜の乾燥をおさえる機能です。

体感湿度 人間が感じる湿度のこと

同じ湿度でも温度が低いほど乾燥しているように感じます。（「体感湿度」は象印が作った造語です。）

●低温時は加湿量が多くなるよう設定されているため、結露する場合があります。気になる場合は、「静音」を選択するか電源を切ってください。

転倒時自動オフ機能について

この製品には、「転倒時自動オフ機能」がついています。使用中に製品を傾けたり、万一製品が転倒した場合に、「転倒時自動オフ機能」が作動し、自動的にヒーターへの通電を停止します。
（運転ランプがすべて点灯し、ブザーでお知らせします。）

〈転倒時自動オフ機能を解除するには〉

差込みプラグを抜いた後、再度接続し、運転 入/切 キーを押してください。（運転を開始します。）

●差込みプラグを差し込んでいない状態では、「転倒時自動オフ機能」は作動しません。

使い方

●この製品は、室内の加湿を目的としたものです。室内の加湿以外の用途に使わないでください。
●ご使用前にタンクを水ですすいでください。

準備

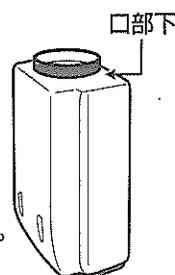
1 設置する

●P.3「設置場所について」をご覧ください。

●吸込口、吹出口をふさいだ状態で使用しないでください。
●スピーカーや電磁調理器など、磁気のあるものには近づけないでください。

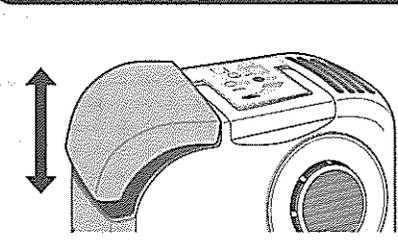
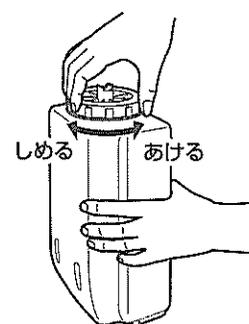
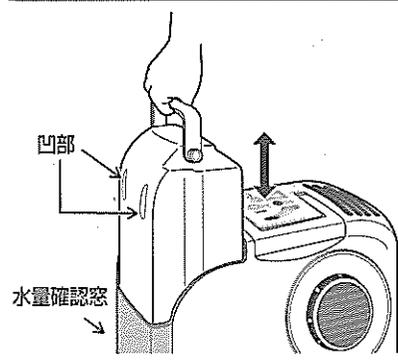
2 タンクに水を入れる

①タンクカバーをはずす
②タンクを取り出し、タンクふたをあける
③タンクの口部下まで水を入れてタンクふたをしめる

口部下

●タンクふたはしっかりとしめてください。(水もれの原因)
●本体に直接水を入れないでください。(ショート・感電の恐れ)

タンクに入れる水について

●水は必ず水道水(飲用)を使用してください。
●次のような水はタンクに入れないでください。
- アルカリイオン水、浄水器の水、ミネラルウォーター、井戸水など
  (カビや雑菌が繁殖する恐れがあります。)
- 40℃以上の湯、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を入れた水、アロマオイルなど
  (タンクの変形・故障の原因になります。)

タンクカバーをはずす・つける

タンクふたをあける・しめる

3 タンクを本体に取りつける

①タンク凹部(2カ所)側を、水量確認窓側にして取りつける
②タンクカバーをつける

●タンクの向きを間違えないでください。

タンクを取り出す・取りつける

4 差込みプラグを接続する

運転

運転入/切 キーを押す

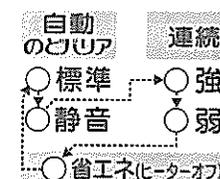
ブザーが鳴り、運転ランプが点灯し、加湿を開始します。

●この製品は、加湿フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す加湿方法のため、多くの風量を必要とします。そのため、運転音はスチーム式の加湿器に比べて大きくなります。
●運転中に「ボコボコ」「カチッ」などの音がする時がありますが異常ではありません。
●ハイブリッド式のため、蒸気は見えませんが異常ではありません。
●運転初期に水に色がつくことがありますがフィルターの色によるもので異常ではありません。
●運転初期にプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用ごとに少なくなります。

運転モードを変更するときは

選択 キーを押し、運転モードを設定する

お好みに合わせて運転モードを設定できます。
押すたびにブザーが鳴り、運転ランプが切りかわります。

●運転モードを変更した場合、次に変更するまで記憶されます。
ただし、差込みプラグを抜くと、「標準」に戻ります。

自動 のどバリア 「のどバリア」機能により体感湿度を感知し、のどにやさしい快適湿度にコントロールします。

設定	体感湿度	こんなときにおすすめ
標準	60%※	冬などの乾燥が気になる時期にのどを乾燥からしっかりバリアしたいとき
静音	50%※	秋口やおやすみ時におすすめのおだやか加湿・静かに運転したいとき

※この値は体感湿度ですので、湿度計の表示とは異なる場合があります。

●自動運転の制御は「標準」の場合、強運転・省エネ運転・弱運転・停止にて、「静音」の場合は弱運転・停止にて行っています。
「標準」の場合、高湿度の場合でも周囲の環境(温度など)によっては、省エネ運転(強運転でヒーターOFF)になる場合があります。

連続 お部屋の湿度に関係なく加湿を続けます。
加湿量が選択できるので、用途に適した連続加湿ができます。

設定	こんなときにおすすめ
強	風邪をひいているとき、高湿度を保ちたいとき
弱	静かに運転したいとき
省エネ	電気代を節約して長時間運転したいとき (「強」運転でヒーターオフにします。) 消費電力:55W(50/60Hz)　加湿能力:300mL/h

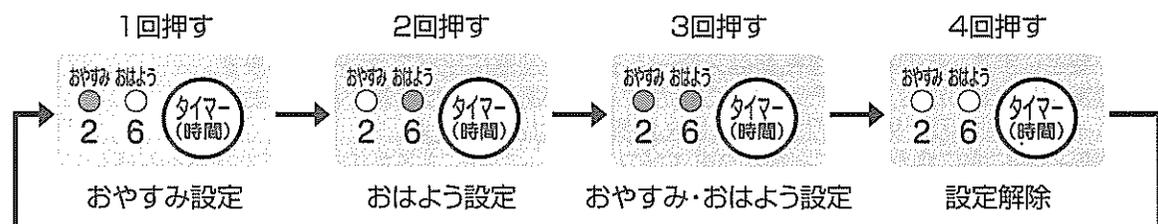
●「弱」を選択すると約16時間の長時間加湿ができます。(満水、室温20℃、湿度30%、水温20℃の場合)
●室内外の温度差が大きい冬場や、長時間連続して運転を行うと室内に結露することがあります。
このようなときは、運転を停止するか、運転モードを変更してください。

使い方 つづき

おやすみ/おはようタイマーの使い方

運転中に「タイマー」キーを押し、希望のタイマーを設定してください。

●キーを押すたびにブザーが鳴り、タイマーランプが切りかわります。

1回押す	2回押す	3回押す	4回押す
おやすみ設定	おはよう設定	おやすみ・おはよう設定	設定解除

おやすみタイマー	おやすみタイマーランプが点灯し、約2時間後に自動的に電源が切れます。
おはようタイマー	おはようタイマーランプが点灯し、約6時間後に自動的に加湿し始めます。 ●開始時はおはようタイマー設定前の運転モードになります。 ●おはようタイマー設定中でも運転モードを変更することができます。 （「切」になるとタイマーは解除されます。）
おはようタイマー＋おやすみタイマー	おやすみタイマーとおはようタイマーを合わせて設定できます。 設定すると、おやすみタイマーランプ、おはようタイマーランプの両方が点灯します。 ①「タイマー」キーを押した約2時間後に自動的に電源が切れます。 ②「タイマー」キーを押した約6時間後に自動的に加湿し始めます。

●タイマーを使用するときは、水量を確認してください。
水量が少ない場合、タイマーが切れるまでに水がなくなり給水表示することがあります。

チャイルドロックの使い方

お子さまのいたずらや誤操作を防ぎます。

キーを約3秒間押す

●チャイルドロックランプが点灯し、「切」操作以外の操作を受けつけません。

解除するときは…

再度

キーを約3秒間押す

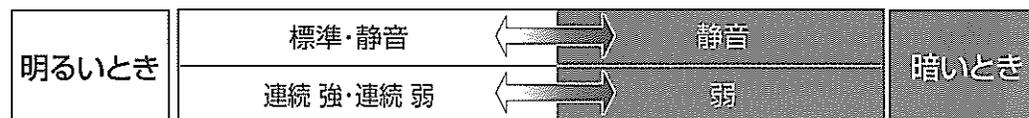
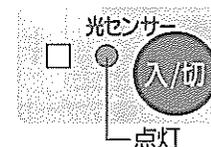
●チャイルドロックランプが消灯します。

●差込みプラグを抜くとチャイルドロックは解除されます。

光センサーについて

●初期状態は光センサーを設定した状態になっています。

●光センサー設定中は、お部屋が暗くなると静かな運転に切りかわります。（同時にランプも暗くなります。）
お部屋が明るくなると、元の運転状態に戻ります。

明るいとき		暗いとき
標準・静音	⇔	静音
連続 強・連続 弱	⇔	弱

光センサー設定（入/切）を切りかえるときは…

運転中に 光センサー 入/切 キーを押す

光センサー〈切〉→光センサーランプが消灯します。
光センサー〈入〉→光センサーランプが点灯します。

●運転モードを切りかえても光センサー設定は継続します。

●運転モードのランプは、設定したモードが点灯します。

給水表示について

次のようなときは、給水ランプ（点滅）とブザー（10回）でお知らせして、自動的にヒーターへの通電を停止します。

原因	処置
●タンクに水を入れずに「運転入/切」キーを押した ●タンクの水がなくなった	タンクに水を入れ、タンクを本体にセットして、運転入/切キーを2回押す
●タンクをセットしてすぐに「運転入/切」キーを押した（タンクの水が本体にたまるまで1分程度かかります。）	タンクをセットして、1～2分程度たってから運転入/切キーを2回押す
●製品の設置場所が水平でない（カーペットなどとのわずかな段差でも作動します。）	水平な場所に移動させ運転入/切キーを2回押す
●トレーが確実に取りつけられていない	トレーを確実に取りつけ、運転入/切キーを2回押す

使い方 つづき

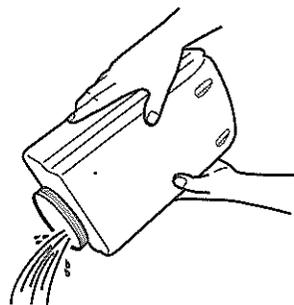
使用後

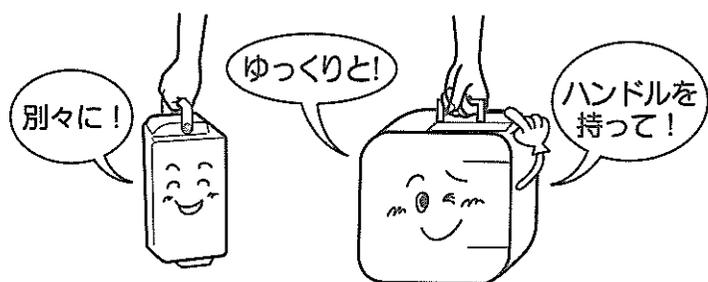
1 [運転 入/切] キーを押し、運転を停止する

●ブザーが鳴り、運転ランプが消灯します。
このとき本体内部冷却のため、ファンが約1分間作動します。

2 差込みプラグを抜く

3 本体からタンクを取り出し、残り水をすてる

●長時間ご使用にならないときは、節電のため差込みプラグを抜いてください。
●ぬれた手で差込みプラグを持たないでください。(ショート・感電の恐れ)
●凍結の恐れがあるときは、必ずタンクの水をすててください。
●本体を傾けて、残った水をすてないでください。(水もれ・故障の原因)

移動のときは…

タンクに水が入っているときは、本体からタンクを取り出し、それぞれ別に持ち運んでください。
また、必ずハンドルを持って傾けないようにゆっくりと運んでください。(水もれの原因)

長期間保管するときは…

①各部のお手入れをする(P.12～13参照)
②タンク・トレー・加湿フィルター・除菌材・吸気フィルターは、お手入れした後、十分に乾燥させる
●加湿フィルター・除菌材・吸気フィルターは陰干ししてください。
③ポリ袋などで密封して保管する
●本体は必ず立てたまま保管してください。

各部のはずし方・つけ方

トレー・加湿フィルター・除菌材

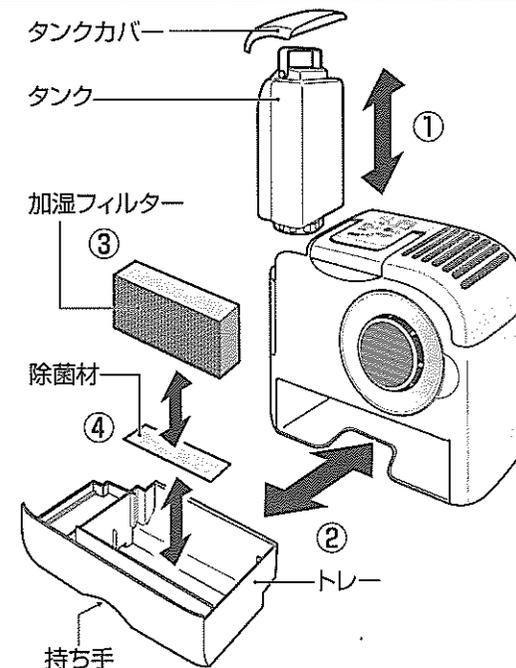
はずし方

①タンクカバーをはずし、タンクを取り出す
②トレーをはずす(持ち手を持ってはずしてください。)
③加湿フィルターをはずす
(トレーごと流し台へ運んでください。)
④除菌材をはずす

●トレーはタンクを抜かないとはずれません。
●トレーの中には水がたまっているので、持ち手を持ってゆっくりとはずしてください。
●加湿フィルター、除菌材に含まれた水気はトレー内でよく切ってください。

つけ方

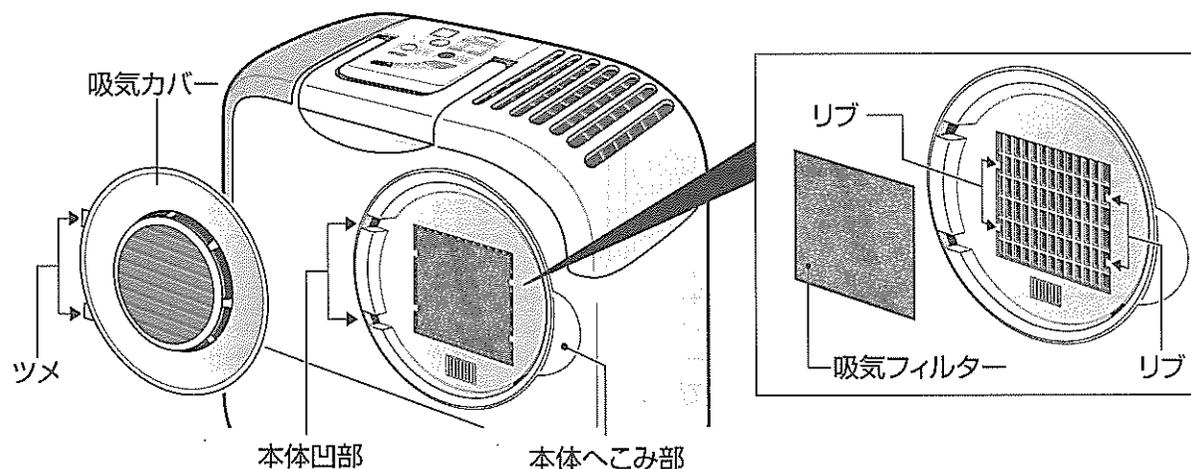
はずし方の逆の手順で行ってください。

●トレーは奥まで確実に取りつけてください。確実に取りつけていないと、給水ランプが点滅し、運転しません。(P.9「給水表示について」参照)

吸気カバー・吸気フィルター

はずし方

①本体へこみ部と吸気カバーの間に指をかけ、手前に引いて吸気カバーをはずす
②吸気フィルターを軽くつまんで取り出す

つけ方

①リブ(4カ所)の中に入るように吸気フィルターを取りつける
②本体凹部に吸気カバーのツメ(2カ所)を合わせて、「カチッ」となるまで押す

お手入れ

●お手入れは本体が冷めてから行ってください。（運転停止後、約10分）
●必ず差込みプラグを抜き、タンクに残った水をすてお手入れしてください。　また、お手入れ後は、十分乾燥させてください。

本体（外装）

よく絞ったふきんで汚れをふき取る

トレー　2週間に1回

水洗いをして汚れを落とす

●細部は綿棒や歯ブラシなどで汚れを落としてください。
●トレー外側の水気はふき取ってください。　●フロートははずさないでください。

トレーの水アカが取れにくいときは…　台所用中性洗剤を溶かした水、またはぬるま湯に柔らかい布をひたして、汚れをふき取ってください。

加湿フィルター・除菌材　2週間に1回

運転して約2週間たつとお手入れランプが点灯し、お手入れ時期をお知らせします。におい、カビおよび加湿性能低下の原因になりますので、2週間以内でもこまめにお手入れしてください。
（汚れ度合いは水質によって異なります。）

点灯　お手入れ　リセット（3秒押し）

●除菌材（銅）・加湿フィルターの表面が緑色に変色する場合がありますが、異常ではありません。そのままご使用になれます。
●加湿フィルター・除菌材のはずし方はP.11「各部のはずし方・つけ方」をご覧ください。
●加湿フィルター・除菌材を持ち運ぶときに水がたれることがありますのでご注意ください。

通常のお手入れ

①ぬるま湯（約40℃）に台所用中性洗剤を入れて溶かす

台所用中性洗剤量の目やす	水1Lあたり10mL

②①に加湿フィルター・除菌材を入れてつけ置き洗いをする（約30分）
③新しい水ですすぎ洗いをする
④水を入れかえて③を2～3回繰り返す
⑤十分に水切りした後、陰干しし、乾燥させる
⑥ リセット（3秒押し） キーを3秒以上押す（ブザーが鳴り、ランプが消灯）

ミネラル成分が付着した場合のお手入れ

●加湿フィルターにミネラル成分（カルシウム、マグネシウムなどの白や茶色の固まり）が付着した場合は、以下のお手入れをしてください。

①ぬるま湯（約40℃）にクエン酸を入れて溶かす

クエン酸量の目やす	水3Lあたり30g

②①に加湿フィルター・除菌材を入れてつけ置き洗いをする（約2時間）
③～⑤は左記と同じ手順で行ってください。

●クエン酸は、弊社のポット内容器洗浄用クエン酸『ピカポット』をお使いください。
洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。
→P.13「交換部品・別売品」参照
（クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従ってください。）

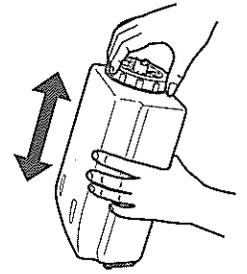
加湿フィルター・除菌材の交換時期

加湿フィルター・除菌材の交換の目やすは、1日8時間運転時で約6カ月（1シーズン）ですが、次のような場合は交換してください。
・お手入れをしてもミネラル成分の付着物やにおいが取れない
・傷みや型くずれがひどい　・変色（黒、茶色）や汚れがひどい

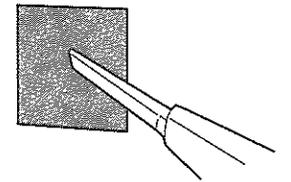
タンク　1日に1回

（タンク外面）
よく絞ったふきんで汚れをふき取る

（タンク内面）
タンク内に水を入れ、タンクふたをしめてタンクをよく振り、排水する（2～3回繰り返す）

●タンク内面の汚れがひどいときは、スポンジで洗ってください。

吸気フィルター　1週間に1回

掃除機で汚れを吸い取る

●汚れがひどいときは、水洗いし日陰で乾燥させてください。

電源コード

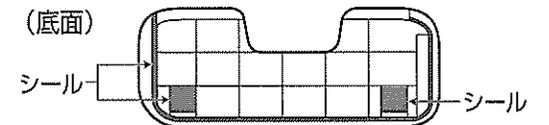
乾いたふきんで汚れをふき取る

お願い

■次のものは使わないでください。
●食器洗い乾燥機、食器乾燥器
故障、変形の原因になります。
●みがき粉、たわしなど
傷がつく原因になります。
●ベンジン、シンナー
樹脂が劣化する原因になります。
●洗剤
ただし、トレー、加湿フィルター、除菌材には、台所用中性洗剤が使えます。

■加湿フィルター、除菌材を廃棄するときは、お住まいの地域のゴミ分別方法に従ってください。

部品名	材質
加湿フィルター	レーヨン・ポリエステル
除菌材	内部:銅 不織布:ポリエステル

■本体底部の黒いシールをはがさないでください。
設置面が結露する原因になります。

交換部品・別売品

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有償）してください。
●お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。

部品名	部品番号
フィルターセット（加湿フィルター・除菌材）	EV-FC01
ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット（30g×4包入）	CD-KB03

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

症状	原因	処置
運転しない 運転ランプが点灯しない キーを受けつけない	差込みプラグがはずれている	差込みプラグを接続してください。
	タンクに水が入っていない	タンクに水を入れ、運転入/切キーを2回押してください。
	チャイルドロックがかかっている（チャイルドロックランプが点灯している）	チャイルドロックキーを約3秒間押し、解除してください。（チャイルドロックランプ消灯）
ブザーが鳴り続け運転ランプがすべて点灯する	本体を転倒させた または、傾けた状態になっている （転倒時自動オフ機能→P.5参照）	本体を平らな場所に置き、再び接続し、運転入/切キーを押してください。
ブザーが10回鳴り、給水ランプが点滅する （給水表示について→P.9参照）	本体が傾いている	水平な場所に移動させ運転入/切キーを2回押してください。
	製品の設置場所が水平でない （カーペットなどとのわずかな段差でも作動します。）	
	タンクをセットしてすぐに「運転入/切」キーを押した	1～2分程度たってから運転入/切キーを2回押してください。
	タンクに水が入っていない	タンクに水を入れ、運転入/切キーを2回押す
	トレーが確実に取りつけられていない	トレーを確実に取りつけ運転入/切キーを2回押してください。
においがする	加湿フィルター、除菌材に水アカやゴミが付着している	お手入れをしてください。（P.12～13参照）
	トレーが汚れていたり、水が古くなっている	
風の出が少なくなってきた 運転音がはじめより大きくなった	加湿フィルターに水アカやゴミが付着している	
	吸気フィルター（吸込口）がほこりで目詰まりしている	
運転ランプが点灯しているのに加湿しない	室内が乾燥していない 「自動」で運転中は、体感湿度を保つようになっていますので、室内が乾燥していない場合は、加湿のしすぎを防ぐために加湿を停止しています。	
部屋の湿度が上がらない	部屋が適用床面積より広すぎる	適用床面積を参照（P.15仕様）
	換気をしていたり、床がじゅうたん敷きの場合、換気状態、床や壁の材質により異なりますが、湿度が上がりにくいことがあります。	
明るい部屋でも光センサーが作動する（ランプが暗くなる）	光センサー感知部がふさがれている 光センサー感知部の上に物を置いたり、影になっていると、光センサーが作動します。 （光センサー感知部は「光センサー入/切」キーの左側にあります。→P.5参照）	光センサー感知部をふさがないでください。
暗い部屋でも光センサーが作動しない（ランプが暗くならない）	光センサーが設定されていない（光センサーランプが消灯している）	光センサーを設定してください。
	光センサー感知部の周囲が明るくなっている	

症状	原因
現在湿度表示と湿度計の値が違う	室温や設置場所などにより湿度計の値と異なる場合があります。
運転中「ボコボコ」と音がする	タンクからトレーに水が供給される音で異常ではありません。
運転中に「カチッ」と音がする	マイコンが制御している音で、異常ではありません。
タンク、トレーの水に色がつく	フィルターの色によるもので、異常ではありません。
蒸気が見えない	ハイブリッド式なので蒸気は見えません。

樹脂部品について　ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い求めの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕様

項目	内容
型名	EV-CC50
容量	4.0L
定格	交流100V　290W　50/60Hz（強運転時）
適用床面積（目やす）	木造和室8.5畳（約14m²）/プレハブ洋室14畳（約23m²）
定格加湿能力	500mL/h
連続加湿時間（目やす）	「強」時:約8時間/「弱」時:約16時間
電源コード	1.4m
外形寸法（約cm）	幅40.5×奥行18.5×高さ37
質量（電源コード含む）	約4.7kg

●適用床面積・定格加湿能力・連続加湿時間は、室温20℃、湿度30%、水温20℃、満水の場合です。
●高さは、ハンドルを収納した場合の寸法です。
●日本国内交流100V専用（定格100V以外の電源では使用できません。）
●特定地域（高い山・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。弊社お客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
●運転を停止していても、差込みプラグが差し込まれていると約0.5Wの電力を消費します。

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 6年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。